

平成 31 年度(令和元年度) スポーツパフォーマンス研究センター事業報告書

スポーツパフォーマンス研究センター長 前田 明

I. 主に取り組んだ事業

1. 学内外の研究者等と協力して様々なスポーツパフォーマンス研究を実施した。
2. 海外の研究者、指導者等との共同研究を実施した。
3. 東京オリンピック・パラリンピック、かごしま国体を目指すアスリートへの科学サポートを実施した。
4. 産官学連携等により外部資金をもとにした共同研究を実施した。

II. 事業報告

1. 研究プロジェクト

- (1) 多種目のスポーツパフォーマンス研究を実行し、論文、学会発表として、研究成果を発表した。
- (2) 海外の研究者、指導者等と連携した共同研究を実行し、研究成果を論文として発表した。
- (3) 産官学連携による外部資金を獲得し、共同研究を行った。

2. 教育(授業に関するものを除く)プロジェクト

- (1) スポーツパフォーマンス研究センター保有の機器使用講習会を前期 1 回、後期 1 回、合計 2 回実施し、センター内の機器の使い方の説明を行った。
- (2) 国際スポーツアカデミー (NIFISA) による複数の授業を SP センターで行った。

3. 社会連携・社会貢献プロジェクト

- (1) スポーツ合宿まちづくり推進事業の支援を行い、94 名の科学サポートを行った。
- (2) 東京オリンピック、パラリンピック、かごしま国体を目指すアスリートを対象とした科学サポートを行った。
- (3) Blue Winds、蒼天祭等における市民への施設開放を行った。
- (4) オープンキャンパス等における受験生への施設案内に協力した。
- (5) スポーツサイエンスキャンプの授業をスポーツパフォーマンス研究センターにて行った。

Ⅲ. 決算報告

区分	金額	備考(使用内容)
人件費	2,070,998	事務1名、清掃1名
計	2,070,998	
消耗品	65,748	清掃用具等
	228,710	事務用品等
	321,970	製氷機保守、窓口カーテン、自販機、収納ユニット等
計	616,428	
印刷費	330,000	報告書@1,100×300部
計	330,000	
会議	20,000	謝金@10,000×2h
	173,040	旅費(104,840)、パネル(68,200)
計	193,040	
その他	42,052	郵送、雑費(来客用)
計	42,052	
総計	3,252,518	

Ⅳ. その他

1. 発刊物

スポーツパフォーマンス研究センター平成27～30年度 報告書を発刊した。

2. 開催会議状況

スポーツパフォーマンス研究センター協力者会議を実施した。